自立活動だより ワクワク

平成２８年７月１９日
鹿児島県立指宿養護学校
自立活動部　　第４号
（担当）小学部　福迫

今回は，小学部の自立活動の取組の一部を紹介します。

時間割に，「自立活動の時間における指導」をＡ課程は週３時間，Ｃ課程は週１時間，Ｄ課程（たいよう学級）は週６，７時間程度設定して，一人一人の課題に応じた指導を進めています。

各教科等（日生，生単，遊び，国語，算数等）においても，一人一人の自立活動の指導内容を関連付けて，学校の教育活動全体を通じて自立活動の指導に取り組んでいます。

＜Ａ，Ｃ課程の指導時間＞（Ｄ課程は毎日取り組んでいます）

	月	火	水	木	金
１	☆１－２			☆１－２	
２	３－１				
３				２－１ ４－１	１－１
４					☆１－２
５	５－１	６－１			
６					

「自立活動の時間における指導」の体制ですが，３人学級は，学級全体で取り組んだり，学部主事，自立活動専任が入って指導したりしています。５人学級は，担任それぞれが２名，自立活動専任が１名を指導しています。たいよう学級は，担任２人と副担任で児童３人を一対一で指導できるようにしています。また，自立活動専任が週２時間以上，担任と一緒に指導する時間も設けています。

このように，小学部は担任を中心として，副担任，学部主事，自立活動専任も指導を行うことで，一人一人の課題に応じた自立活動の個別指導，または少人数指導ができる体制を取っています。子どもたちも，コミュニケーションを楽しみながら，課題と向き合っているところです。

１－１

クラスのみんなで、シートブランコでの感覚遊びと「黒ひげ危機一髪ゲーム」を使ったゲームを行っています。友達や先生とのやりとりを楽しむこと、簡単なルールを守りながら、集団で楽しく活動することなどを目標に活動しています。

次の順番を教えたり，剣を並べたりする係を設けながらゲームを進めることもできるようになってきました。休み時間にも友達を誘ってゲームできたらいいなと思います。

１－２

目と手の協応動作を高める目的で，見本を見ながら正確にペグを指していく活動をしています。

体の動かし方の学習では，ペンギンさんのように腕をパタパタさせて（右の写真），肩や背中の緊張をほぐす運動をしています。筋力トレーニングも大切なので，腹筋や上腕筋を鍛える運動のやり方もＰＴの先生から指導して頂きました。日課として毎日取り組むようにしています。

２－１

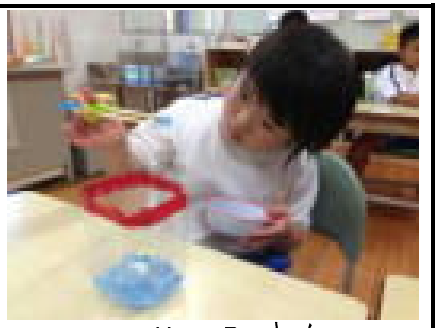
２年生は，昨年度から継続してクラス全員でのゲーム活動に取り組んでいます。

「順番を守る」「負けても泣かない」「仲良くする」の約束をみんなで確認してから始めています。今回は，“オラフ危機一髪”に挑戦！剣を配る人，順番の写真カードを貼る人，片付けをする人･･･お互いに役割を果たしながら，また，「次は○○くんだよ」等優しく言葉掛けもしながら取り組んでいます。気持ちのコントロールをしながら，友達の様子を気に掛けながら，楽しく活動頑張っています。

「つぎはどうかな？！」ドキドキです

３－１

３年生は，学級で，全員お箸の練習をしています。普通のお箸とエジソン箸を使って物を挟む練習をしています。食事の時と同じように，「お皿を持ってね。」と声を掛けて取り組んでいます。担任と競争しながら練習することがみんな大好きです。まだまだ余計な力が入ったり，薬指や小指が開いたりしていることもありますので，徐々に直していきたいです。おもちゃの大豆にも挑戦中です。給食の時間に，少しずつ成果が出てきています。



Ｙ．Ｒさん

４－１

４年生は，男子３人のクラスです。

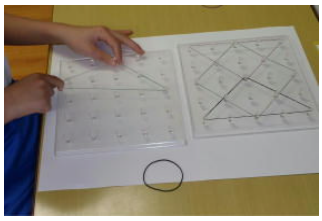
３人が取り組んでいるのは，「コミュニケーション」の学習です。１学期は，順番やルールを守って楽しくトランプやボウリングのゲームをしました。また，自分たちで考えたり，相談したりしながら「いぶようピタゴラスイッチ」を組み立てました。

相手に自分の意見や気持ちを伝えることは，難しいこともあるけれど，「それ，いいね！」と認めてもらったり，自分の気持ちが伝わったりすると何だかほっとして，男子３人の友情が育っているようです。

「いぶようピタゴラスイッチ！」

５－１

自立活動の時間にAさんは「発音と語いの拡充，コミュニケーション力の向上」，Bさんは，「ジオボードによる視知覚の認知力の向上と課題に対する心理的負荷への自己調整」**（右写真）**，Cさんは，「手指操作を通して，集中して課題に取り組む」ことを，それぞれ課題として取り組んでいます。

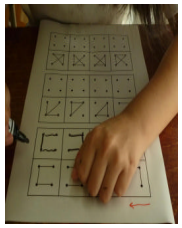


Cさんは，言葉を理解していろいろと自分一人でできるので，自分から言葉をあまり使わなくても生活していけます。

そこで，学校生活全体を通した自立活動の指導では，言葉を使わないといけない状況を意図的に設定することで，最近は「○○くん，何をしたいの，なあに」と問い掛けると，自分から「○○かして」**（左写真）**と文字と言葉を併用して，他者に伝えようとする姿が見られるようになってきています。

６－１

６年生は，友達とのいろいろなやりとりの中で自分の気持ちを伝えられるように，一緒に外で活動したり，室内でゲームや体操を一緒にしたりして，遊びながら「○○したいな」「一緒にしよう」「ちょっと待って」などいろいろな気持ちを友達に伝えられるようにしています。３人が同じ場に居て，そのとき感じたことを伝え合いながら，自然と笑顔になる時間です。



その他にも，話し言葉が不明瞭な児童は，舌の動きをなめらかにするために，スプーンを当てて舌を広げたり，チョコボールのチョコだけを噛まずに舌でなめたりする活動をしています。また，視知覚の認知力を高めるために見本を見ながら，点つなぎ課題を完成させるようにしています。斜めの線を視写することが難しい児童ですが，点に番号を振ることで一つずつ確認しながら，「できるよ」と自信をもって課題に取り組む姿が見られています。

たいよう

Dさんは，教師の働き掛けに応じて体の部位を屈曲，伸展させる活動に取り組んでいます。腰を回旋させるなど，寝た姿勢での体操もリラックスして行うようになってきました。また，教師の言葉掛けを受けて，自分で意識して動かしたり，力を抜いたりする姿が見られています。

Eさんは，鼻から空気が抜けないよう意識しながら，ティッシュを吹く活動を行っています。食事の際に口を閉じて噛む動きへつながってきています。

Fさんは，毎日のストレッチの成果で力を抜いた状態が作りやすくなってきました。その後，膝立ちや四つばいなどの姿勢保持や車椅子からの移乗を行っています。